

令和3年9月藤沢市議会定例会 記者会見資料

令和3年度9月 補正予算案の概要



郷土愛あふれる藤沢

～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～



9月補正予算案

令和3年度9月補正予算は、新型コロナウイルス感染症への対応事業、補助対象事業で新規補助採択され、予算化が必要な事業、緊急に補正を必要とする事業等について補正予算措置を講じます。

1 補正予算案の概要

(単位：千円)

会計別	6月補正後 予算額	9月補正 予算額	9月補正後 予算額
一般会計	158,219,893	※1,654,160	159,874,053
特別会計	121,691,148	26,796	121,717,944
合計	279,911,041	1,680,956	281,591,997

※一般会計の9月補正予算額のうち「新型コロナウイルス感染症対応事業」として、762,039千円を計上するもの。

2 補正予算案の主な内容

新型コロナウイルス関連

◇感染症対策事業費

145,985千円

PCR検査等の件数が当初の見込みを上回ることから経費を増額するもの。また、民間移送業者等を活用して自宅療養中の陽性患者の受診や入院の際の移送体制を強化するもの。

◇プレミアム付商品券発行事業補助金

464,751千円

藤沢市商店会連合会、藤沢商工会議所、藤沢市観光協会の3者が連携し、本年12月から翌年2月までの間の利用を予定しているプレミアム付商品券（電子商品券）の発行事業に補助し、感染拡大防止のために営業時間の短縮や外出自粛により影響を受けている市内事業者を支援するもの。

◇学校管理運営費(特別支援学校)

5,123千円

白浜養護学校のスクールバスの運行台数を継続して増やし、スクールバス内が三密になることを防ぎ、安全な運行を確保するもの。

その他

◇デジタル推進事業費

5,930 千円

スマートシティ基本方針の策定等を効率的・効果的に進めるため、専門的な知見を有する事業者への業務委託を実施するとともに、スマートシティや自治体DXを推進していくための「DX戦略推進プロデューサー」を任用するもの。

◇藤沢駅周辺地区再整備事業費

17,280 千円

小田急電鉄、JR東日本及び本市の3者協議が整ったことから、小田急電鉄側自由通路拡幅整備及び橋上駅舎化（第1期施工）に係る詳細設計を令和3年度から2カ年の継続事業で実施するにあたり、その施工者である小田急電鉄へ負担金を支払うもの。（継続費設定：総額235,350千円 令和3年度から令和4年度まで）

◇教育情報化推進事業費

2,084 千円

令和4年3月から校務支援システムを導入し、令和4年4月から運用を開始することで、小学校教職員の事務作業が効率化され、生み出された時間等を活用することにより、子どもたちの豊かな学びと成長につなげていくもの。

◇墓園事業費

26,796 千円

将来の市民の墓地需要に継続して応えるとともに、新たに合祀墓^{ごうしぼ}を含めた立体墓地の建設をするため、令和3年3月に策定した「大庭台墓園立体墓地再整備基本構想」を基に、基本設計・実施設計を令和3年度から3カ年の継続事業で実施するもの。（継続費設定：総額65,252千円 令和3年度から令和5年度まで）

*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所

財 務 部 財政課

大 塚 内線 2301

企画政策部 秘書課

谷津倉 内線 2110

企画政策部 広報シティプロモーション課

鳥 原 内線 2120